

国際教養学部創設 10 周年記念講演会（春学期）

講演タイトル：「日英ふたつの言語をつないで - 会議通訳という仕事」

日 時：7月6日（金）4限目（15：00～16：30）

講 師：ランプキン朋子（澤田）氏

会 場：桃山学院大学 2号館 2-301 教室

国際教養学部創設 10 周年を記念して講演会を行います。今回の講師は現在日米だけでなく世界を舞台に会議通訳として活躍されているランプキン朋子（澤田）さんをお招きします。多くの大学生が憧れる「英語を使う仕事」として究極の能力が求められる同時通訳としての経験、日英両言語をつなぐ現場で特に印象深かった人、そこで感じた日本語のむずかしさ、英語のむずかしさ、帰国子女ではない普通の日本人がいかにして英語を学んだかなど、経験に基づいたお話をさせていただきます。

主要な通訳の仕事としては APEC、G-20 サミット、WTO 会議、ILO 総会、国連（総会、女性会議、気候変動枠組み条約会議等）などの国際会議をはじめ、日本政府閣僚クラス高官の米国訪問随員、米国議会（上下院）での日本企業公聴会、米国政府要人（オバマ大統領、クリントン国務長官）の通訳に加えて、日米財界人会議などの民間会議、国際的な訴訟関連の場でも活躍されています。

英語に関心のある方、会議通訳、同時通訳とはどんな仕事なのかに関心のある方など、どなたでも歓迎です。学生の方、社会人の方、ぜひご参加下さい。

経歴：大阪外国語大学英語科卒業 1974

フルブライト奨学金・ハワイ東西センター奨学金 1975

ハワイ大学アメリカ研究修士号 1981

Monterey Institute of International Studies, Monterey, CA, Professor of Interpreting, 1996~1998

共訳書：『太陽がふたつ出た日 - マーシャル諸島民の体験』（1993）：*Day of Two Suns on US Nuclear Testing and Pacific Islanders* by Jane Dibblin, 紀伊国屋書店



（写真提供：共同通信社 2014 年 4 月 24 日）



世話人：友沢昭江（国際教養学部）